

介護部会 西ブロック会議 報告書

実施日 令和4年6月29日(火) 14:00~15:00

会議実施会場 WEB会議

参加人数 8 施設 10名 参加
ソフィア横浜、ヒューマンライフケア、ハートケア横浜
ハートケア横浜小雀、スカイ、うららの里、千の星・横浜、
リハパーク舞岡

議事項目 ①職員間のコミュニケーションをどうとっているか？
②新型コロナウイルスのその後

内容

A施設

介護部内職員間のコミュニケーションは問題なく取れているように思うが
他部署とのコミュニケーションが難しいと感じている職員が多いように思う。

B施設

コミュニケーションにおいて大きな問題はないが外国人スタッフとの
コミュニケーションが言語の関係で難しいと感じることがあり状況に応じて
他スタッフが間に入りフォローするなどの対応をしている。

C施設

コロナ渦となり職員の休憩室内は無言、なかなかコミュニケーションは
取りづらい状況にある。しかし目標やビジョンはきちんと共有し主任たちが
評価している。カンファレンスなど必要時はコミュニケーションを取っている。

D施設

やはりコロナ渦となり職員間のコミュニケーションは取りづらい状況に
なった。何かあれば主任やリーダーを通して話すことが多い。

E施設

主任と4ヶ月に1回は面談する時間を設け相談しやすい環境を作っている。
またコロナ渦となりリハビリなど各フロアで行うこととなり他部署と
コミュニケーションを取る機会が増えた。

E施設

コロナ渦になっても職員間のコミュニケーションに大きな変化はみられていない

F施設

現状の職員間でのコミュニケーションには特に問題はない。

外国人スタッフとのコミュニケーションも思っていたより取れている。

多職種とのコミュニケーションの取り方が課題。

G施設

コロナ渦で行事など全体では集まる事が難しくなってしまう、対面でのコミュニケーションを取ることは難しくなった。リーダーが毎月の会議などに情報を持ち寄り共有は出来ている。またリハビリを各フロアで実施することになり、リハビリスタッフと交流する機会が増えた。

②コロナその後について

- ・引き続きオンライン面会の実施と予約制でアクリル板面会を実施。
- ・現在は落ち着いて稼働しているがデイサービスが特にコロナの影響を受け全体の2/3程の利用キャンセルがあった。
入所の方は新規入所の予定だった方が延期となった際に他施設への入所が決まってしまうたりとダメージもあった。外出レクなどは現在も中止。
- ・昨年11月にクラスター発生し年明けまでは厳しい状況が続いた。
面会は1日2組までの対面面会を開始。今後、徐々に面会枠を広げていく予定
- ・先月まで職員のPCR検査を1週間に1回実施していたが現在は終了。
新規入所者のPCR検査は実施している。
7月よりアクリル板りきの面会から再開予定。
- ・5月にクラスター発生。1ヶ月程で収束はしたが厳しい状況だった。
またN95マスクなど物品の確保が大変だった。
タブレット面会やガラス越し面会をメインとしているが
ターミナルケアを行っている方においては直接面会を実施している。
- ・7月より屋外で適切な距離を取ることを条件とした直接面会を開始する予定。

【どこまで隔離としたか？】

- ・基本的にはカーテン隔離としていたが認知症の方の行動制限はやはり難しい
- ・感染部屋として個室を確保していた。

次回開催予定

令和4年9月28日(水) 14:00～15:00 WEB会議にて

テーマ:新人教育と技能実習生について

١٠

١١

١٢

١٣